

(写)

前橋市教育委員会告示第2号

前橋市教育委員会1月定例会を次のとおり招集します。

令和8年1月8日

前橋市教育委員会

教育長 吉 川 真由美

記

1 日 時 令和8年1月15日(木) 午後2時30分

2 場 所 市役所11階北会議室

3 付議事件

(1) 議案第1号 令和8年4月1日付け人事異動方針について

(2) 議案第2号 独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金の徴収に関する規則の改正について

令和8年1月定例教育委員会提出事項

1 教育長報告

2 提出議案

- (1) 議案第1号 令和8年4月1日付け人事異動方針について
- (2) 議案第2号 独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金の徴収に関する規則の改正について

3 その他

- (1) 行事について（総務課）
- (2) 前橋市教育振興基金の活用について（総務課）
- (3) 前橋・高崎連携事業文化財展の開催について（文化財保護課）
- (4) 第2期前橋市学校教育情報化推進計画（案）のパブリックコメント実施について（学校教育課）
- (5) 前橋市高校生模擬議会の実施結果について（前橋高等学校）
- (6) 令和7年度社会教育活動功労者感謝状贈呈式について（生涯学習課）
- (7) 令和7年度第3回社会教育委員会議の開催結果について（生涯学習課）
- (8) 第60回（令和7年度）前橋市民展覧会の開催について（生涯学習課）
- (9) 令和7年度優良公民館表彰の受賞について（生涯学習課）
- (10) 第4回前橋市はたちのつどいの開催結果について（生涯学習課）

※下線については、当日送付

教育委員会議案第1号

令和8年4月1日付け人事異動方針について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第21条第3号の規定に基づき、令和8年4月1日付け人事異動方針を次のとおり決定しようとする。

令和8年1月15日提出

前橋市教育委員会

教育長 吉川 真由美

令和 8 年 4 月 1 日付け人事異動方針

1 基本方針

職員の適材適所を基本とした異動を実施し、職員の士気の高揚と事務事業の円滑な推進を図るとともに、人事の停滞を防ぎ、もって人事管理の適正化と公務能率の向上を期する。

2 具体的方針

(1) 採用

採用する職員は、次に掲げるとおりとする。

- ア 新規採用職員 令和 7 年度に実施した前橋市職員採用試験に合格した職員
- イ 定年前再任用短時間勤務職員及び暫定再任用職員 前橋市職員の定年等に関する条例の規定により採用された職員
- ウ 指導主事等 県費負担教職員等

(2) 配置換え（異動）

職員の配置換えに当たっては、人事評価、職員の意向調査等を参考に、次に掲げる事項に留意し、他部局等との積極的な交流を図ることとする。

- ア 同一職場に 5 年（新規採用後 10 年以内の職員は 3 年。ただし、技能労務職については 5 年。）以上在職する職員について、原則として配置換えを行う。
- イ 現職場に異動して 1 年以内の職員は、原則として配置換えを行わない。
- ウ 職員の配置換え（新規採用職員の配置を含む。）に伴い、課内異動、分担事務の見直し等を積極的に行う。
- エ 長期にわたる病気休暇等から復帰して間もない職員、若しくは現に長期療養中の職員、妊娠中の職員、出産後 1 年以内の職員又は育児休業中の職員については、原則として配置換えの対象外とする。

教育委員会議案第2号

独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金の徴収に関する規則の改正について

独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金の徴収に関する規則の一部を次のとおり改正しようとする。

令和8年1月15日提出

前橋市教育委員会

教育長 吉 川 真由美

独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金の徴収に関する規則の改正について（議案第2号）

総務課

1 改正の理由

独立行政法人日本スポーツ振興センター法施行令に基づき、所要の改正を行う。

2 主な内容

- (1) 第1条中「（以下「保護者等」という。）」を「等」に改める。
- (2) 第2条第2項各号列記以外の部分中「前項」を「前項第1号」に改め、「かわらず、」の次に「小学校、中学校又は特別支援学校の児童又は生徒の」を加える。

3 施行期日

令和8年4月1日

独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金の徴収に関する規則新旧対照表

改正案	現 行
<p>(趣旨)</p> <p>第1条 この規則は、独立行政法人日本スポーツ振興センター法(平成14年法律第162号)の規定に基づき、教育委員会が前橋市立学校(学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に定める学校のうち、市が設置するものをいう。)の児童、生徒又は幼児の保護者等から徴収する共済掛金(以下「保護者等掛金」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。</p> <p>(保護者等掛金の額)</p> <p>第2条 省略</p> <p>2 <u>前項第1号の規定にかかわらず、小学校、中学校又は特別支援学校の児童又は生徒の保護者等が次の各号のいずれかに該当する場合は、経済的理由により保護者等掛金を免除することができる。</u></p> <p>(1)～(2) 省略</p> <p>3 省略</p>	<p>(趣旨)</p> <p>第1条 この規則は、独立行政法人日本スポーツ振興センター法(平成14年法律第162号)の規定に基づき、教育委員会が前橋市立学校(学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に定める学校のうち、市が設置するものをいう。)の児童、生徒又は幼児の保護者(以下「保護者等」という。)から徴収する共済掛金(以下「保護者等掛金」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。</p> <p>(保護者等掛金の額)</p> <p>第2条 省略</p> <p>2 <u>前項の規定にかかわらず、保護者等が次の各号のいずれかに該当する場合は、経済的理由により保護者等掛金を免除することができる。</u></p> <p>(1)～(2) 省略</p> <p>3 省略</p>

教育委員会2月行事予定表

日	曜	行 事 名	時 間	場 所	担当課
1	日				
2	月				
3	火	令和7年度第2回文化財調査委員会	10:00～12:00	文化財保護課2階会議室	文化財保護課
4	水	社会教育活動功労者感謝状贈呈式	13:30～14:30	中央公民館5階501・502	生涯学習課
5	木	第2回国際教育推進委員会	10:00～11:00	31会議室	学務管理課
6	金				
7	土				
8	日	児童文化センター合唱団・Jrオーケストラ定期演奏会	13:30～17:00	昌賢学園まえばしホール	教育支援課
9	月				
10	火				
11	水				
12	木				
13	金	教育委員会定例会	14:00～15:00	市役所11階南会議室	総務課
		考古学教室「鏡チョコ作り」	10:00～12:00 14:00～16:00	総社公民館調理室	文化財保護課
14	土	中学生・多様な学びの日			学校教育課
15	日	粕川歴史民俗資料館 企画展関連講座 第5講	13:30～15:00	粕川歴史民俗資料館	文化財保護課
		中学生・多様な学びの日			学校教育課
16	月	第3回前橋市文化財保存活用地域計画協議会	14:00～15:30	31会議室	文化財保護課
17	火				
18	水	令和7年度第2回児童文化センター運営委員会	15:30～17:00	児童文化センター	教育支援課
19	木	第38回上野国府等調査委員会	13:30～15:00	文化財保護課2階会議室	文化財保護課
		市立前橋高等学校令和8年度入学者選抜試験(1日目)		前橋高等学校	前橋高等学校
20	金	市立前橋高等学校令和8年度入学者選抜試験(2日目)		前橋高等学校	前橋高等学校
21	土	文化財探訪(古墳巡り)	9:00～12:00	総社古墳群等	文化財保護課
22	日				
23	月				
24	火	ぬいぐるみのおとまり会	15:30～16:30	前橋こども図書館	図書館
25	水	こども天文教室	18:00～20:00	児童文化センター	教育支援課
26	木				
27	金	第60回(令和7年度)前橋市民展覧会美術部門開催 ～3/1(日)	10:00-17:30	昌賢学園まえばしホール	生涯学習課
28	土	親子自転車乗り教室	9:00～11:00	児童文化センター(交通公園)	教育支援課
		中学生・多様な学びの日			学校教育課

教育委員会3月行事予定表

日	曜	行 事 名	時 間	場 所	担当課
1	日	児童文化センター演劇クラブ令和7年度後期公演		児童文化センター	教育支援課
		中学生・多様な学びの日			学校教育課
2	月	市立前橋高等学校卒業式		前橋高等学校	前橋高等学校
3	火	令和8年第1回定例市議会開会(～3月26日まで)		議場	
4	水	市立前橋高等学校令和8年度入学者選抜試験合格発表		前橋高等学校	前橋高等学校
5	木				
6	金	第60回(令和7年度)前橋市民展覧会書道部門開催 ～3/8(日)	10:00～17:30	昌賢学園まえばしホール	生涯学習課
7	土	児童文化センターボランティアの会サンキュー祭り		児童文化センター	教育支援課
		親子自転車乗り教室	9:00～11:00	児童文化センター	教育支援課
		高等学校連携事業 市立前橋高等学校吹奏楽部演奏会 「夜の図書館で聴く吹奏楽の響き」	18:00～18:50	図書館中央図書室	図書館
8	日				
9	月	代表質問		議場	
10	火				
11	水	総括質問1日目		議場	
12	木	総括質問2日目		議場	
13	金	市立中・特別支援学校卒業式		各学校	学校教育課
14	土	新小学一年生おはなし会 一年生になるんだもん!	11:00～12:00	前橋子ども図書館	図書館
		親子自転車乗り教室	9:00～11:00	児童文化センター	教育支援課
		中学生・多様な学びの日			学校教育課
15	日	中学生・多様な学びの日			学校教育課
16	月				
17	火	教育委員会定例会	14:30～15:30	市役所11階北会議室	総務課
18	水				
19	木	市立幼稚園修了式(卒園式)		各幼稚園	教育支援課
		教育福祉常任委員会(予算審査)			第一委員会室
20	金	春の子どもフェスティバル	11:00～12:00	前橋子ども図書館	図書館
21	土	～野村たかあき作品いっぱい～春よこいこいおはなし会 第60回(令和7年度)前橋市民展覧会授賞式	11:00～12:00 10:00～11:30	前橋子ども図書館 中央公民館ホール	図書館 生涯学習課
22	日				
23	月	市立幼稚園終業式		各幼稚園	教育支援課
24	火	市立小学校卒業式		各学校	学校教育課
		市立前橋高等学校終業式		前橋高等学校	前橋高等学校
25	水				
26	木	市立小・中・特別支援学校修了式		各学校	学校教育課
27	金				
28	土	中学生・多様な学びの日			学校教育課
29	日	中学生・多様な学びの日			学校教育課
30	月				
31	火				

前橋市教育振興基金の活用について

総務課

1 基金の設置

本市教育の振興を図り、事業実施に必要な経費の財源に充てるため、平成24年1月に教育振興基金を創設した。市民等からの寄附金のほか、市内小中学校から収集した古紙の売却益などを積み立てている。

2 基金の状況

R 6 年度末残高	206,175,084 円	R 7 積立予定額	R 7 取崩予定額
主な内訳 (原資)		遺贈寄附	小中学校の大型備品 (牛乳保冷庫・電話機) の更新経費一部充当 (毎年)
株式売却益	158,807,915 円	79,289,004 円	500 千円
遺贈寄附	31,095,947 円	N T T 損害賠償金	入学支援金 (毎年)
ほか寄附	5,300,000 円	81,228,013 円	2,000 千円
学校古紙売却益	4,175,116 円	学校古紙	
利子他 (既積立)	6,796,106 円	1,444,000 円	
		基金利子	
		652,000 円	
		R 7 年度末残高見込	
		366,288,101 円	

3 活用実績と広報

(1) 活用実績

- ・校内LAN整備、文化財施設整備、学校図書室及び市立図書館の本の充実、児童文化センター (天文、芸術、環境の各種事業) の施設更新など
- ・小中学校の大型備品 (牛乳保冷庫・電話機) の更新経費一部充当
- ・就学支援金 (給付型奨学金)

(2) 広報

- ・顕彰プレートの設置、教育委員会月報令和7年9月号 (文科省)、就学支援金チラシ他

4 今後の活用予定、活用方針

- ・寄附者の意向を最優先とする
- ・教育振興基金条例の設置趣旨に則った活用案を検討する
→ 予算編成に当たり基金充当が望ましいと考えられる費用 (児童生徒、市民へ直接影響がある費用)
→ 特別支援学校通学バス 23,710 千円、児童文化センターバス 15,000 千円
- ・積極的な情報発信、関係機関等との連携強化に努める

「令和 7 年度前橋・高崎連携事業文化財展」の開催について

文化財保護課

1 内容

本文化財展は、前橋市と高崎市の連携文化財活用事業として、平成 19 年度から毎年開催しており、今年度で 19 回目となる。

今回は、今年の干支が「午」であることにちなみ展示タイトルを『馬、来たる』として、両市で所有している馬型埴輪や古墳時代の馬具、馬に関する考古学資料を紹介します。

2 会場

高崎会場：高崎シティギャラリー 2階 第6展示室（高崎市高松町 35-1）

前橋会場：前橋市総社歴史資料館 学習室（前橋市総社町総社 1584 - 1）

3 開催日時

高崎会場：令和 8 年 1 月 17 日（土）～ 1 月 25 日（日）

午前 9 時～午後 6 時

前橋会場：令和 8 年 1 月 31 日（土）～ 2 月 15 日（日）

午前 9 時～午後 5 時（月曜日休館日）

4 入場料

無料

5 開催チラシ

別紙のとおり



令和7年度

前橋・高崎連携事業文化財展

東国千年の都

馬、来たる。

高崎会場

2026

1/17 [土] - 1/25 [日]

高崎シティギャラリー2階 第6展示室

午前9時 - 午後6時

前橋会場

2026

1/31 [土] - 2/15 [日]

前橋市総社歴史資料館 学習室

午前9時 - 午後5時 (月曜日休館)

入場無料

主催：前橋市・前橋市教育委員会、高崎市・高崎市教育委員会

後援：上毛新聞社、朝日新聞前橋総局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、
(株)群馬よみうり、産経新聞前橋支局、東京新聞前橋支局、NHK前橋放送局、
群馬テレビ(株)、(株)エフエム群馬、(株)まえばしCITYエフエム、(株)ラジオ高崎、
共同通信社前橋支局、時事通信社前橋支局、(公財)前橋観光コンベンション協会、
(一社)高崎観光協会 【順不同・敬称略】



馬、来たる!

平成十九年度から開催している前橋・高崎連携事業文化財展は、今回で十九回目を迎えます。今年度は、新年の干支が「午」であることにちなみ、「馬」をテーマとしました。馬は群馬県の県名に含まれることから、私たちにとても身近で親しみやすい動物でもあります。

馬は今から約一五〇〇年前、古墳時代中頃に朝鮮半島から伝わりました。両市はもとより群馬県は、全国的にみても古墳時代から馬の飼育が盛んで、馬に関係する遺跡や遺物が数多く発見されています。

今回の展示では、両市が所有する文化財の中から、古墳時代に造形された馬形埴輪の優品をはじめ、馬を飾った馬具、馬の文字資料や絵画資料などを紹介します。

主な展示資料

◆ 前橋市

前二子古墳／剣菱形杏葉
白藤古墳群P-6号・V-4号古墳／馬形埴輪
内堀遺跡群M-4号墳／馬形埴輪
柳久保水田址／墨画土器
漆窪上漆窪B遺跡／「馬長」刻書土器
堀越中道遺跡／「立」焼印

◆ 高崎市

剣崎長瀬西遺跡／鉄製轡（高崎会場のみ）
若田B号古墳／毛彫杏葉
中原II遺跡1号古墳／馬形埴輪
山名土合古墳群II号古墳／馬形埴輪
長根羽田倉遺跡／滑石製馬形模造品
矢田遺跡／「牡馬 馬手」刻書紡錘車

馬の登場



鉄製轡／剣崎長瀬西遺跡(高崎市)
※展示は高崎会場のみ



(左)三鈴杏葉／近戸古墳群4号古墳(前橋市)
(右)毛彫杏葉／若田B号古墳(高崎市)

馬の造形



中原II遺跡1号古墳(高崎市)

内堀遺跡群M-4号墳(前橋市)

白藤古墳群P-6号古墳(前橋市)

白藤古墳群V-4号古墳(前橋市)

馬との共存

● 馬を描く



硯／史跡箕輪城跡(高崎市)



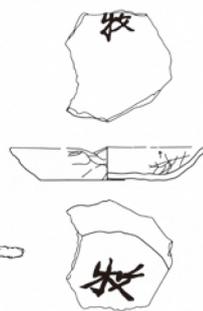
墨画土器／柳久保水田址(前橋市)

● 文字と牧

(右)「牧」墨書土器／中原遺跡群(前橋市)
(左)「馬」文字瓦／史跡上野国分寺跡(高崎市・住谷コレクション)



焼印／堀越中道遺跡(前橋市)



高崎会場

2026.1.17[土] - 1.25[日]

高崎シティギャラリー2階 第6展示室

〒370-8501 群馬県高崎市高松町35-1



Googleマップ

access

JR：JR高崎駅から徒歩10分。

車：城址地下駐車場・城址第二地下駐車場をご利用ください(有料)。

※来場者割引で30分80円でご利用いただけます。会場で駐車券へ来場証明の押印を受けてください。

●お問い合わせ先：高崎市教育委員会文化財保護課

〒370-8501 高崎市高松町35-1 TEL:027-321-1292 FAX:027-328-2295

前橋会場

2026.1.31[土] - 2.15[日]

前橋市総社歴史資料館 学習室

〒371-0852 群馬県前橋市総社町総社1584番地1 / TEL.027-212-2558



Googleマップ

access

JR・バス：JR群馬総社駅より徒歩20分。JR前橋駅から日本中央バス、群馬バス乗車。「ぐんまみらい信用組合前」下車後、徒歩6分。

車：駐車場(無料)

●お問い合わせ先：前橋市教育委員会文化財保護課

〒371-0852 前橋市総社町3-11-4 TEL:027-280-6511 FAX:027-251-1700

「第2期 前橋市学校教育情報化推進計画（案）」に関するパブリックコメントの実施について

学校教育課

1 概要

令和8年度から令和12年度までを計画期間とする「第2期 前橋市学校教育情報化推進計画（案）」を策定する。本計画は、GIGA スクール構想に基づく端末更新や校務支援システムのクラウド移行など、教育情報化の重要な転換期に対応し、児童生徒の資質・能力向上と質の高い学びを支える教育基盤整備を目的とするものである。

このたび、計画案に対する市民の皆様のご意見を伺うため、パブリックコメントを実施する。

2 パブリックコメント対象資料

- (1) 第2期 前橋市学校教育情報化推進計画（案）
- (2) 第2期 前橋市学校教育情報化推進計画（案）【概要版】

3 パブリックコメント実施概要

(1) 意見の募集期間

令和8年2月2日(月) ～ 3月2日(月)

(2) 資料の公表方法

①市ホームページへの掲載

②施設での配布

- ・市役所本庁舎（10階学校教育課、2階情報公開コーナー）
- ・前橋市総合教育プラザ
- ・各支所、各市民サービスセンター、各コミュニティセンター

(3) 意見の提出方法

①市ホームページ内の専用入力フォーム

②電子メール

③資料配布施設へ持参

(4) 市民への周知方法

①市ホームページへの掲載

②広報まえばし2月号への掲載

(5) 意見に対する回答

出された意見に関する本市の考え方について、市ホームページ及び資料の配布施設において公表する。

前橋市高校生模擬議会の実施結果について

前橋市立前橋高等学校

1 趣旨

前橋市立前橋高等学校で実施している探究学習の一環として、学習指導要領で重視する思考力・判断力・表現力を育成するため、高校生模擬議会を開催する。

2 開催日程・場所

令和7年12月18日（木） 前橋市議会庁舎 議場

第1回 9：20～10：05（2組、3組）

第2回 10：20～11：05（4組、5組）

第3回 11：20～12：05（1組、6組）

※第2学年6クラスを2クラスごとに3回に分けて実施（各回45分）

3 出席者

学校：第2学年生徒全員、校長、担当教諭

市：副市長、公営企業管理者、各部局長

市教委：教育長、教育次長、指導担当次長

市議会：市議会議長、副議長、議会事務局職員

4 質問形式

前橋市議会代表質問の形式に準じて実施。

質問は質問席で行い、質問者は1回につき2クラス6人ずつ、計18人が質問。

5 進行

別紙のとおり



前橋市高校生模擬議会 進行

【第1回】9:20～10:05

- 校長あいさつ
- 市長職務代理者 副市長あいさつ
- 市政に対する代表質問
 - 1 地産地消と「めぶく Pay」の更なる活用方法について（2年2組）
 - 2 赤城の山×若者文化プロジェクトについて（ 〃 ）
 - 3 高校生体験プロジェクトについて（ 〃 ）
 - 4 多様性住民受入住宅の設置について（2年3組）
 - 5 国際技術プラットフォームで支えるまちづくりについて（ 〃 ）
 - 6 「言語+文化バディ制度」の導入について（ 〃 ）
- 市長職務代理者 副市長講評

【第2回】10:20～11:05

- 市議会議長あいさつ
- 市政に対する代表質問
 - 1 推し活の仕組みを応用した市民参加型エコ活動促進システムの導入について（2年4組）
 - 2 空き家を資源とする自然再生とコミュニティ構築について（ 〃 ）
 - 3 「ちいかわ」コラボを核とした外来種駆除の担い手拡大戦略について（ 〃 ）
 - 4 新型交通手段の通学有人ドローンの導入について（2年5組）
 - 5 AIを使った通院システムについて（ 〃 ）
 - 6 AIを活用した防災システムについて（ 〃 ）
- 市議会議長講評

【第3回】11:20～12:05

- 教育長あいさつ
- 市政に対する代表質問
 - 1 「みんなで朝食プロジェクト」について（2年1組）
 - 2 市内企業対抗運動会の導入について（ 〃 ）
 - 3 「ナゴミスクール」と「まえばし寺子屋」の開設について（ 〃 ）
 - 4 若者の流出を抑制するための総合大学設置について（2年6組）
 - 5 夢に向かって学習に向き合える市となることについて（ 〃 ）
 - 6 新カリキュラム「ライフ」の導入について（ 〃 ）
- 教育長講評
- 生徒代表あいさつ

令和7年度前橋市社会教育活動功労者感謝状贈呈式について

その他6

生涯学習課

1 贈呈式

- (1) 日時 令和8年2月4日(水) 午後1時30分～
 (2) 場所 中央公民館 5階 501・502 学習室

2 社会教育活動功労者(被贈呈者)

(敬称略)

No.	氏名・団体名	所属団体名・役職等	推薦担当課
1	久保寺 健夫	前橋市文化協会自然趣味部会 部会長・常任理事	文化スポーツ観光部 文化国際課
2	下谷 洋子	前橋市文化協会書道部会 理事	
3	飯塚 幸生	前橋市文化協会音楽部会 理事	
4	勢藤 隆	前橋市文化協会川柳部会 理事	
5	井上 千代二	前橋市スポーツ少年団 理事	文化スポーツ観光部 スポーツ課
6	井野 誠一	前橋市郷土芸能連絡協議会 会長	文化財保護課
7	須永 智	前橋市文化財調査委員	
8	前橋観光ボランティア会	会長 鳥海 順一	
9	金子 三枝子	鎌倉中学校 開放管理者	学務管理課
10	三浦 紘佑	前橋市児童文化センター ボランティアの会 青少年ボラ代表	教育支援課
11	荻原 幸雄	ボーイスカウト前橋地区協議会 地区委員長	生涯学習課
12	松井 和夫	前橋市子ども会育成団体連絡協議会 会計	
13	塚越 威	下川淵地区青少年育成推進員会 会長 前橋市青少年育成推進員連絡協議会 理事	
14	今井 寿哉	総社地区青少年育成推進員会 会長 前橋市青少年育成推進員連絡協議会 理事	
15	村田 知宏	三中地区青少年育成推進員会 書記	
16	塩原 直行	それいけ!まえばし出前講座 市民講師	
17	塩原 牧子	それいけ!まえばし出前講座 市民講師	
18	樺沢 均	前橋市民展覧会委員会 運営委員(幹事)	
19	浜岡 宗一	城南地区地域づくり協議会文化財部会 部会長	
20	ドリーム・サウンズ	代表者 松村 光幸	粕川公民館
21	吉江 佐登美	元総社地区体育推進委員会 顧問	元総社公民館
22	元総社地区体育推進委員会	会長 岡田 雄也	
23	狩野 孝子	桂萱学習グループ連絡協議会 副会長	桂萱公民館
24	齋藤 均	永明公民館利用グループ連絡協議会 会長	永明公民館
25	青木 由紀子	天川地区地域づくり協議会 健康・福祉部会子育て支援担当	第五コミュニティセンター
26	船津 璃慧子	桂萱読み聞かせの会「はぐはぐ」 書記・副会長	図書館
27	矢島 敏子	ももかわ読み聞かせの会 会員	
28	林 知子	前橋市読み聞かせグループ連絡協議会 会員	
29	スマイル♥ハート	前橋市読み聞かせグループ連絡協議会 会員 会長代行 屋内 和子	

令和 7 年度第 3 回前橋市社会教育委員会議の開催結果について

生涯学習課

会議名	令和 7 年度第 3 回前橋市社会教育委員会議
日時	令和 7 年 12 月 1 日（月）14 時から 17 時
場所	前橋市総合福祉会館 多目的ホール・子育てルーム
出席者	（委員：5 人） 佐藤議長、土田委員、栗木委員、狩野委員、生方委員 （欠席委員：7 人） （市教委） 吉川教育長、宇次生涯学習課長、他 2 人 （社会教育アドバイザー） 牧野篤氏、井熊ひとみ氏 ※講演は、図書館の全体研修に参加
議題	(1) 講演 まちを「学び」のフィールドにー図書館の新しい役割を考えるー (2) 座談会 社会教育のこれから
結果概要	(1) 図書館全体研修会 前橋市の社会教育アドバイザーである大正大学・牧野篤教授による講演「まちを【学び】のフィールドにー図書館の新しい役割を考えるー」を受講した。講演では、図書館を地域の学びの拠点として位置づける視点や、社会教育の新しい可能性について具体的な事例を交えながら説明があった。 (2) 座談会（意見交流） 社会教育委員、牧野教授、井熊ひとみ氏との座談会を実施した。座談会では、第四期教育振興基本計画に関する考え方や、社会教育主事・社会教育士の制度とその活躍の場について牧野教授から説明を受け、質疑応答を通じて意見交換を行った。特に、社会教育がもたらす効果や地域における社会教育士の役割、新しい図書館への期待などについて活発な議論が交わされた。
主な意見等	○学校運営協議会には公民館職員も入っている。学校と社会教育は対立軸ではなく、幸せに生きるために学ぶ場という意味では、社会教育の役割は非常に大きい。 ○社会教育とは何か、また生涯学習と社会教育の違いは何かを議論してきた。今日の話聞き、社会の基盤が抜けてしまっているからこそ、その基盤をきちんと作る必要があると感じた。 ○新しい図書館づくりに向けて、市民を巻き込んだソフト・ハードの整備をお願いしたいです。具体的には、ボランティアによる読み聞かせスペースの整備や、団体などの活動拠点づくりです。新しい図書館を見据えた取り組みをぜひ進めていただきたいと思います。

第 60 回（令和 7 年度）前橋市民展の開催について

生涯学習課

1 開催日時

(1) 美術部門 令和 8 年 2 月 27 日（金）～ 令和 8 年 3 月 1 日（日）

(2) 書道部門 令和 8 年 3 月 6 日（金）～ 令和 8 年 3 月 8 日（日）

時間（両部門共通）：午前 10 時～ 午後 5 時 30 分 ※入場は午後 5 時まで

2 会場

昌賢学園まえばしホール 大・小展示ホール

3 入場料

無料

4 主催

前橋市民展覧会委員会

（共催：前橋市教育委員会・前橋市文化協会）

5 内容

美術部門は平面（日本画、油彩、水彩等）と立体（彫刻、工芸等）の 2 部で構成

書道部門は漢字、かな、新傾向（墨象、近代詩文等）の 3 部で構成

両部門とも一般公募作品と前橋市民展覧会委員会委員等の作品を展示

<参考>

第 59 回（令和 6 年度）作品出品数：美術部門 339 点、書道部門 432 点

6 開催チラシ

別紙のとおり

60th CITIZENS EXHIBITION OF MAEBASHI



書道 2026年 3月6日 金
3月8日 日

前橋 第60回
第48回前橋市民芸術文化祭
市民展

入場無料

昌賢学園まえばしホール
(前橋市民文化会館)
大・小展示ホール

開場 AM10:00 閉場 PM5:30
※入場はPM5:00まで
TEL 027-221-4321



美術 2026年 2月27日 金
3月1日 日

お問い合わせ ● 前橋市教育委員会事務局生涯学習課 TEL. 027-210-2198

主催 ● 前橋市民展覧会委員会

共催 ● 前橋市教育委員会・前橋市文化協会

後援 ● 群馬県・群馬県教育委員会・群馬県教育振興会・前橋市・前橋商工会議所・公益社団法人企業メセナ群馬・上毛新聞社・朝日新聞社前橋総局・産経新聞前橋支局・東京新聞前橋支局・毎日新聞前橋支局・読売新聞前橋支局・NHK前橋放送局・群馬テレビ・FM GUNMA

表装・額装

川上表具店

〒370-3531 高崎市足門町1706-2
TEL027(373)0272 FAX027(373)1703

書道用具・表装各種

有限会社 三洋堂

〒370-0851 高崎市上中居町 274-4
TEL 027-324-1260 FAX 027-324-1263
E-mail sanyodo@jcom.home.ne.jp

広告内容に関する質問等につきましては、広告スポンサーに直接お問い合わせください。(広告スポンサーと前橋市民展覧会業務とは直接関係ありません。)

第60回 前橋市民展覧会開催要項・出品規則

MAEBASHI CITIZEN EXHIBITION

1 趣旨

本市の芸術的創作活動の成果を公募、展示し、広く市民の鑑賞に供する中で、本市芸術文化の一層の振興とその水準の向上に資する。

2 部門

(1)書道部門 (2)美術部門

3 会期

(1)美術部門 令和8年2月27日(金)～3月1日(日)

(2)書道部門 令和8年3月6日(金)～3月8日(日)

4 会場

●昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館)

大・小展示ホール

電話 / 027-221-4321

観覧時間 / 午前10時00分～午後5時30分

(入場は午後5時00分まで)

入場料 / 無料

5 出品作品

作品は他の公募展やコンテスト等で発表したことのないものに限り、また、著しく類似した作品の応募はできない。

(1)書道部門

- ①部 別 第1部 漢字作品
第2部 かな作品
第3部 新傾向作品(墨象・近代詩文・大字書)

②種 別 額装 わく張 軸装 その他

③表 装 本表装とする。

④大きさ ◆漢字作品

作品は、縦180cm(6尺)×横60cm(2尺)以内で縦、横自由とする。ただし、軸装は、縦210cm(7尺)×横60cm(2尺)以内とする。

◆かな作品

70cm×180cm(6尺)以内で縦、横自由とするが、縦作品に限っては、縦180cm(6尺)×横60cm(2尺)以内も可。ただし、軸装は、縦210cm(7尺)×横60cm(2尺)以内とする。

◆新傾向作品

180cm(6尺)×75cm(2.5尺)以内で縦、横自由とする。

⑤その他 各部とも90cm(3尺)×90cm(3尺)以内可とする。委員は0.5㎡以内・無鑑査は1㎡以内

とする。いずれも仕上り寸法とする。

(2)美術部門

①部 別 第1部 平面作品(日本画・油彩・水彩・アクリル・版画・パステル・きり絵・はり絵・イラスト・CG等)

第2部 立体・工芸作品(彫刻・工芸等)

②大きさ ◆平面作品

30号以下とする。ただし額装を含めて、縦、横1m以内とする。

◆立体・工芸作品

底面積1m×1m以内・高さ1m以内とし、壁面作品は、縦1.5m、横1m以内とする。

③額 装 平面作品は、額装することを基本とする。アクリルガラスのみ使用可能。額はひもを付けること。

④その他 作品はオリジナルのものとする。なお、第2部の工芸においては、その支持体(土台等)も含めてオリジナルのものとする。

6 出品点数

特に制限を設けない。ただし、彫刻・工芸は一人2点以内。委員、無鑑査は一人1点とする。

7 出品手数料

各部門とも出品点数1点につき2,000円とする。ただし、同一部内に2点以上出品する場合、2点目から1点につき1,000円とする。

※全部門18歳以下は、無料とする。

※委員、無鑑査については、協賛金2,000円とする。

※自然災害や感染症等により、中止となった場合の返金…

市民文化会館に作品搬入(受付)後(各部門)、中止と判断した場合は、返金はありません。

8 出品者の資格

前橋市に在住・在勤・在学(書道教室・絵画教室なども含む)する人、または、かつて在住・在勤・在学していた人で、令和8年4月1日時点で、満16歳以上の人。

9 審査

前橋市民展覧会委員会委員長が委嘱する審査員が当たる。

10 陳列

(1)入選作品及び無鑑査、委員の作品を陳列する。出品者は、鑑別、審査、陳列に対して異議を申し立てることができない。

主催●前橋市民展覧会委員会

共催●前橋市教育委員会／前橋市文化協会

後援●群馬県／群馬県教育委員会／群馬県教育振興会／前橋市／前橋商工会議所／公益社団法人企業メセナ群馬／上毛新聞社
朝日新聞社前橋総局／産経新聞前橋支局／東京新聞前橋支局／毎日新聞前橋支局／読売新聞前橋支局／NHK前橋放送局
群馬テレビ／FM GUNMA

(2)陳列した作品は、原則として会期中撤去できない。

11 搬入（受付）及び搬出

搬入（受付）及び搬出ともに、昌賢学園まえばしホール（前橋市民文化会館／前橋市南町3-62-1 TEL 027-221-4321）で行う。

(1)搬入(受付)日時

美術部門 令和8年2月23日(月・祝) 14時00分～18時00分

書道部門 令和8年3月2日(月) 14時00分～17時00分

(2)搬出日時

美術部門 令和8年3月2日(月) 9時30分～12時00分

書道部門 令和8年3月9日(月) 9時30分～11時30分

【注意事項】

- 郵送はできない。
- 搬入、搬出及び荷造りの費用は、出品者の負担とする。
- 搬出日に出品者が来られない場合は、代理人が必ず搬出する。
- 搬入、搬出ともに時間を厳守し、かつ、時間内に完了する。

12 出品票・作品票

市内の各地区公民館（中央・上川淵・下川淵・芳賀・桂萱・東・元総社・総社・南橋・清里・永明・城南・大胡・宮城・柏川・富士見）及びコミュニティセンター（第一・第二・第三・第四・第五）で配布

(1)出品者は、所定の出品票（委員－桃色 無鑑査－黄色 公募－白）に必要事項を記入し、出品手数料を添えて、搬入受付時に提出する。出品票は出品点数1点につき1枚使用する。

なお、作品票は、作品の裏面右上に貼付する。

(2)主催者は、出品作品を受領したとき、領収書及び作品引換券を交付する。搬出時は、作品引換券を持参した者に作品を引き渡す。

書道部門の作品は、出品票に作品の読み方を記入する。臨書の場合は出典を明記する。

(3)出品票・作品票は、必要事項を必ず楷書で正しく明記する。

13 入選・入賞の発表

各部門の会期初日に昌賢学園まえばしホール（前橋市民文化会館）において行い、電話での問い合わせは、受け付けない。

14 賞

審査の上、次の賞を贈る。ただし、一つの部門の各部につき、一人一賞とする。

第60回記念展賞／市民展賞／知事賞／市長賞／市議会議長賞／県教育長賞／市教育長賞／アーツ前橋賞／市文化協会会長賞／群馬県教育振興会長賞／前橋商工会議所会頭賞／公益社団法人企業メセナ群馬賞／各新聞社賞／NHK前橋放送局／群馬テレビ賞／FM GUNMA賞／優作賞／奨励賞／臨江賞／委員賞／無鑑査賞

15 授賞式

前橋市中央公民館（前橋市本町2-12-1前橋プラザ元気21）で行う。入賞者には文書で通知する。

16 作品の保管等

作品は主催者において責任をもって保管するが、不可抗力による損害については、その責を負わない。また、額は通常の取り扱いに耐えられる堅牢なものとする。

17 展覧会の中止及び変更

自然災害や感染症等により中止及び日程等の変更が生じた場合は、前橋市ホームページにて周知する。

※作品搬入（受付）後に中止となった場合は、出品者に対して文書で通知する。

※状況によりホームページへの掲載や出品者への通知が遅くなる場合があります。

18 事務局

この展覧会の事務局を前橋市教育委員会事務局生涯学習課におく。

前橋市本町2-12-1前橋プラザ元気21内

☎027-210-2198

第60回 前橋市民展覧会委員会委員名簿

【 ■ 運営委員 / ● 審査員 】

委員長：茂木 紘一

副委員長：村田 容子 / 下谷 洋子 / 吉田 章二

顧問：西林 乗宣

<五十音順>

書道部門

部長：村田 容子 副部長：下谷 洋子 / 大井 美津江

漢字

■ ●	井上 賢治
■ ●	今泉 曠子
	榎田 護
■ ●	大川 則代
	大和田 友子
	小澤 美智子
	黒岩 初音
■ ●	坂庭 昇子
	櫻澤 利雄
	高橋 昌江
	高山 喜久枝
	田中 公子
■ ●	都丸 保
	中島 恵子
	西林 乗宣
	羽入 田光代
	平岩 きよ子

	藤野 敦子
	前田 和子
■ ●	師田 政江
●	山本 恵

かな

	秋山 久枝
	朝倉 春江
	阿佐 美園子
	井草 文恵
	石井 恭子
	伊丹 宏子
	一倉 恵子
	稲村 由宇記
	内田 初枝
	大川 清子
●	大岡 みづほ
	岡田 貞子

	小田 中幸代
■ ●	勝山 初美
	九條 純代
	小池 とみ江
	小林 照子
■ ●	小林 フジ子
	設楽 澄江
	柴崎 あつ子
	下村 道子
■ ●	下谷 洋子
	神保 千代子
	鈴木 せつ子
	関口 すみ子
	仙場 美枝子
	高井 順子
	滝沢 啓子
	田子 良照
	谷 美知子

	田村 久里子
	田村 玲子
	遠田 紀恵子
	利村 郁子
	都丸 みどり
	長岡 美佳
	野際 たか
	野本 英紀
	林 英子
	平林 米子
	広川 良雄
■ ●	星野 明美
	星野 栄子
	堀井 雅美
	堀川 朋子
	松田 静子
■ ●	松村 くに子
	松本 泰子

	三島 梅子
	宮下 孝子
	宮下 知子
	武藤 房枝
■ ●	村田 容子
■ ●	山崎 明
■ ●	結城 由美子
	横手 三千代
	渡辺 睦子

新傾向

■ ●	青木 かよ
■ ●	荒井 和行
■ ●	大井 美津江
	大谷 正子
	岡野 敦子
	門脇 信子
	鎌田 照代

■ ●	小林 洋子
	坂井 初江
	須藤 富子
●	都木 眞知子
■ ●	竹内 照代
	塚越 晴子
	富澤 理恵子
	花里 智子
■ ●	原口 美智子
■ ●	伏津 玲子
	村田 恵子
●	矢嶋 紀子
	横倉 一恵

美術部門

部長：茂木 紘一

副部長：吉田 章二

平面

	阿佐 美豊
	阿部 茂夫
	天笠 和美
	新井 幸子
	新井 知美
	新井 洋子
	新井 文夫
	新井 幸子
	池田 あつみ
	池田 晶子
	石井 志げ
	石井 裕子
	石田 文江
	五十畑 秀男
■ ●	井田 秋雄
	伊藤 朋子
	今井 惣一郎
	今井 隆子
■ ●	今井 充俊
	宇津木 隆雄
	遠藤 紀子
■ ●	大島 均

	大谷 房子
	大橋 きみ代
	大庭 節子
■ ●	岡田 尚子
	奥野 まさ
	小澤 芳江
■	小曾 根正利
	小幡 敏子
	勝又 茂樹
	金井 陽子
	狩野 静江
	狩野 美重子
	樺沢 静子
	川野 竹子
■ ●	北詰 眞弓
	木下 一子
■	熊谷 哲夫
	栗原 千草
	栗林 照一
	桑原 康枝
	小坂橋 良江
	小暮 芳宏
●	小林 百々代

■ ●	酒井 重良
■ ●	坂本 敏
	佐藤 清美
■ ●	佐藤 眞知子
	澤田 ふぢ子
	塩谷 充代
	篠田 敬子
	柴崎 路子
■ ●	清水 榮三
■ ●	鈴木 克男
	須藤 幸子
	関口 佳代子
■ ●	関口 正子
	高井 純子
	鷹橋 絢子
	高橋 亜希子
	高橋 善次郎
	高橋 芳枝
	高山 節子
	瀧野 泉
	竹内 けさの
■ ●	多胡 宏
	田島 和雄

	田中 松美
	田村 愛子
	田村 啓子
	塚越 千秋
■ ●	築地 明美
	坪松 房子
	手倉森 美智子
	手島 まぎ子
	柁 勇三
■ ●	富澤 秀文
	富所 陽子
	豊川 重盛
	内藤 武志
	長岡 祐介
	中嶋 紀嘉
	中嶋 俊江
■ ●	中林 三恵
	中村 紀久世
	中山 洋子
	橋爪 良子
	橋元 恵子
	林 政子
	東 曉子

	疋田 由利子
	平尾 泰子
■ ●	平田 経子
	福島 志津代
	福地 佳永子
	福本 進
	藤枝 啓子
	古川 由美子
	星野 ノリ子
	堀 智子
	前田 俊一
	前田 美知代
	前田 羨
■ ●	牧ヶ谷 功
	正木 麻美
	松井 マサエ
■ ●	茂木 紘一
	山岸 千冬
	横堀 博子
■ ●	吉田 章二
	吉田 成美
	吉田 久子
	吉永 恵子

	六本木 八千恵
立体・工芸	
●	荒木 真由美
	石原 ひろ
■ ●	今井 ひさ子
■ ●	大倉 美枝子
■ ●	樺沢 均
	篠澤 茂勝
	霜鳥 恵一
	高田 和子
	舘澤 敬子
	田村 聰江
	千吉 良美津子
●	豊田 共子
■ ●	中島 賢二
■ ●	福島 祐子
	宮田 栄子
■ ●	持木 芳明
	吉澤 幸枝
	吉田 和江

前橋プロバスクラブ
会長 町田 庄吉

プロバスクラブは、ロータリークラブが社会奉仕活動の一環として提唱するもので、Professional と Business Person を合成した造語です
長い人生経験を生かし、地域の振興に活躍する会です
連絡先事務局 090-8857-1248

前橋の歴史を学ぶエンターテイメント施設

ヒストリア前橋
HISTORIA MAEBASHI

入館料 無料
住所 〒371-0024 群馬県前橋市表町 2-30-8
[AQERU(アクエル)前橋] 2階 JR前橋駅(北口)下車徒歩1分
開館時間 10:00 ~ 17:00(最終入館 16:30)
休館日 毎週火曜日(火曜祝日の場合は翌日)

広告内容に関する質問等につきましては、広告スポンサーに直接お問い合わせください。(広告スポンサーと前橋市民展覧会業務とは直接関係ありません。)

令和7年度優良公民館表彰の受賞について

生涯学習課

公民館等の社会教育活動を行う施設のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献している施設を優良公民館として、文部科学大臣及び群馬県教育委員会が表彰している。令和7年度は次の2公民館が受賞

1 令和7年度優良公民館 文部科学大臣表彰

受賞館：上川淵公民館

テーマ：こどもの体験とチャレンジを応援する地域拠点〈資料23・24ページ〉

表彰式：日時 令和8年2月6日（金）

場所 文部科学省東館 3階 第一講堂
対面とオンラインを組み合わせて実施

2 令和7年度優良公民館 群馬県教育委員会表彰

受賞館：桂萱公民館

特色ある事業（活動）：少年教室 〈資料25ページ〉

表彰式：日時 令和7年11月26日（水）

場所 高崎市総合福祉センター 2F たまごホール

〈参考〉

過去の受賞履歴（直近）

1 文部科学大臣表彰 元総社公民館（令和6年度）

2 群馬県教育委員会表彰 上川淵公民館（令和6年度）

こどもの体験とチャレンジを応援する地域拠点

前橋市上川淵公民館(群馬県)



テレビ局の仕事を学ぶ



親子収穫チャレンジ

公民館の沿革・年表

- ・昭和30年 前橋市公民館発足 上川淵支館発足
- ・昭和41年 (旧) 上川淵公民館落成
- ・昭和42年 優良公民館群馬県教育委員会表彰受賞
- ・昭和59年 現在地で(新) 上川淵公民館落成
- ・昭和63年 優良公民館群馬県教育委員会表彰受賞
- ・令和5年 わかば小学校、明桜中学校学校運営協議会に参画
- ・令和6年 優良公民館群馬県教育委員会表彰受賞

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

【小学生☆まなび体験】

- テレビ局の仕事を学ぶ

テレビ局から講師を迎え、実際にアナウンサーやディレクター、タイムキーパーなどを体験した。放送の裏で様々な役割を担う人がいることを知り、番組制作の大変さと面白さを感じることができた。

- 親子収穫チャレンジ

地区住民が組織している地域づくり協議会食育部会と連携することで、親子で気軽に参加できる収穫体験会を開催した。交流と食育を目的に世代間交流が図れたとともに、収穫の喜びを感じることができた。

1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 少子化や新型コロナ、地域の担い手不足等により、地域におけるこどもを含めた交流の機会が減少している。
- こどもにもスマホやタブレットが急速に普及し、簡単に情報が入手できる現代、実際の体験や人との交流が大切になっていると考えられる。
- 上記から、次代の担い手となるこどもが様々な人とふれあい、好奇心を持って自ら取り組める「体験・チャレンジ活動」の場を提供することを目的に講座を実施した。

2. 取組内容 (力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など)

【小学生☆まなび体験講座 (体験活動)】夏休み期間を利用し、様々なテーマの体験講座を実施している。令和6年度は①真夏の夜のお話会 ②薬剤師の仕事を学ぶ ③涼しいところを探そう ④テレビ局の仕事を学ぶ (アナウンサー体験) ⑤公民館で遊ぼう(映画上映とバルーンアート) を実施した。

【親子収穫チャレンジ (世代間交流)】幼児～小学生の親子を対象に、地域団体が栽培した作物の収穫体験会を開催している。令和6年度はジャガイモとサツマイモの収穫を行った。



真夏の夜のお話会

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

【小学生☆まなび体験 (体験活動)】①読み手を公募し、地域人材の発掘に努めた。②地元の薬局と連携することで本格的な調剤体験の機会を提供できた。③地元講師の指導で身近な所から環境問題を考える機会とした。④テレビ朝日の出前講座に応募したところ開催が実現し、プロのアナウンサーから指導を受けることができた。より多くのこどもが体験できるよう近隣の公民館と協力し、3館合同の講座とした。

【親子収穫チャレンジ (世代間交流)】交流と食育を目的に地区住民が組織している地域づくり協議会食育部会と連携することで、親子で気軽に参加できる収穫体験会を開催することができた。



薬剤師の仕事を学ぶ

4. 取組による成果や効果

【各活動による成果・効果 (小学生☆まなび体験)】●地域人材、団体、企業等と連携することで多様な体験プログラムの提供が可能となり、こどもがわくわくしながら積極的に取り組む様子が多く見られた。●仕事への興味、関心の幅が広がり、キャリア教育の機会になったと考える。●地域で活動したい人が潜在的にいることがわかった。

【各活動による成果・効果 (親子収穫チャレンジ)】●世代間交流を図ることができた。地域の大人もこどもたちと接し、やりがいを感じていた。●農業や食育について興味を持つきっかけになったと考える。

【これまでの取組全体による成果・効果】●公民館が主催する行事に対してこどもの関心が高まり、体験活動参加率の上昇に寄与した。●こどもと一緒に活動し活躍したいという地域の人たちが増えており、世代間交流の橋渡しが出来た。

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 関係団体の代表者や学識経験者等で組織する公民館運営推進委員会を年2回開催し、意見や指摘を公民館事業の改善に役立てている。
- 取り組みの検証と新たな企画の参考にするため、事業ごとに参加者アンケートを実施している。

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

- 講座を企画する際には「今の時代に求められるテーマ設定」、「地域資源の活用」、「地域の人や団体等との連携」を心がけている。今後も一層多様な観点から体験プログラムを提供できるよう情報収集に努め、こどもの豊かな成長を応援していきたい。

また、様々な世代に応じた講座の拡充にも努め、地域コミュニティの希薄化が問題となる現在、公民館が学びと交流の場になることを目指していきたい。



前橋市桂萱公民館

施設情報

所在地：前橋市上泉町141-3

設置年月日：昭和42年3月31日

開館時間：9:00～22:00

運営主体：前橋市教育委員会生涯学習課

R6年度総来館者数：42,653人

特色ある事業（活動）

【少年教室】

◇参加対象：小学生・中学生

◇事業内容：家庭の状況による体験格差を埋めるべく、子供たちが主体的に学ぶ機会として、文化的で実践的な体験講座を開催。講座の内容は、絵画、書道、七宝焼(伝統工芸)、陶芸、プログラミング、料理(夏休みの食事作り)、心の健康(SOS教育、自殺防止)、サイエンスクッキング(料理を通して科学を学ぶ)、囲碁と将棋。子供たちの興味や社会の変化に応じて毎年内容や方法を工夫し、改善を重ねている。

◇事業成果：様々な学校から多くの児童生徒が集まり、いつもと違う環境も楽しんで学習に取り組めた。講師を務める地域の大人や、自分達の少し先の未来の姿を想起させる高校生や大学生のボランティアとも交流を深めることができた。講座をきっかけに、受講生やその家族が、他の講座を受講したり、学習クラブの会員になるなど、新たな公民館利用者となる場合があり、利用者の増加に繋がった。



学習内容を深めるための取組

講座の講師は、当館で活動する自主学習グループや地域団体等を活用。講座の運営を補助するボランティアを募集し、地元の中高校生・大学生・専門学校生の協力を得て、参加者同士の交流や学びの循環を促進。なお、プログラミング講座では、事前に小学校から児童個人配付のタブレット活用状況を聞き取り、講座内容に反映(学校との連携)、講師として、地域で活動するNPO法人を活用。

多様な利用者参加促進のための環境整備

申込方法は、窓口や電話、電子申請も活用することで多様な働き方をする保護者に対応。障害を持つ受講生は保護者とともに受け入れて対応(受講できるよう配慮)。社会的な関心が高い自殺防止に関する講座は、保護者の受講も可能とし、チラシに掲載することで学びの対象であることを広く周知。また、開催した講座の様子を公民館報を通じて周知することで、次の講座への期待値を高めた。

自己点検・評価等の実施状況

各講座終了時に受講生に対しアンケートを実施し、適度な学習時間や講座への満足度、期待する内容等の需要を把握し、次の計画に活かしている。更に、年2回開催している公民館運営推進委員会で委員から出された意見を反映し、講座立案に取り組んでいる。住民の日常会話の中に講座名が出てくることから、需要と認知度は高いことがうかがえる。変化が著しい社会の動向もふまえ、地域団体や学校、企業などともより連携を図っていきたい。